

基本方針全般

- ・市民のウェルビーイングの向上
- ・幸せを感じて生きる

基本方針1 「人」

- ・「賢い市民」を増やす。自律し、賢く生きていける市民・・・
- ・先の見えない社会を生きていく、こらからの人材を育てる。新しい価値観をうみだす
- ・子どもたちが自分の力で考えて、より満足のいく人生を歩んでもらいたい
- ・人のつながりを大切にし、住んでいる場所の良さを語れる地元好きの市民を増やす
- ・住んでいる地域について興味をもつ人を増やす
- ・市民にまちへの愛着や誇りを持ってもらう
- ・地域愛の醸成
- ・生駒市民の底上げ
- ・“リスペクト”の気持ちを持ってもらう

基本方針2 「地域」

- ・「学び」や「交流」を切り口とした地域福祉の向上(共生社会の実現)
- ・「市民協働」の推進
- ・学びの場としての情報発信
- ・生涯学習の意義や目的を、市の取組を市民に理解してもらう
- ・ひとりでも多くの市民に「学び」に関わってもらう
- ・大人の方には余暇を楽しんでもらったり、自己実現の助けになれば
- ・学びを通して自己実現につなげる
- ・自分で生き方を選択できる社会に
- ・人々がしたいこと、学びたいことの欲求を支援することで活気あるまちづくりに寄与する
- ・子どもの育成を通じた住民同士が支えあえる地域づくり
- ・地域愛と地域理解から生まれる新しいまちづくりの視点とその実現
- ・学ぶことで市民の人生の選択肢を増やす
- ・ひとりひとりの暮らしや人生の選択肢が増えるような社会教育を進める
- ・子どもや若者が今後の社会で活躍できるためのステージを提供する
- ・幅広い世代に様々な学びの場を提供できるような機会・土台づくりをする
- ・市民同士が学びをフィードバックしあう場づくり
- ・市民同士の交流を通して、新たな学びの機会を創出する
- ・子育て世代や子どもたちに、学校教育以外でさらに学びを得て、暮らしを豊かにすることができる機会づくり
- ・これからの社会教育をどのように進めるかを考え、幅広い世代の方に様々な学びの機会を提供

する

- ・市民ニーズに合った学びの場をつくる
- ・地域のあらゆる年代、立場の人に満足してもらえるサービスを提供する
- ・コミュニケーションの場を提供する
- ・あらゆる年代の人が望む資料を細やかに整備・配置し、必要な事業を企画・開催する
- ・学びへの関心や意欲を高める
- ・市民に学びへの関心を高めてもらう
- ・市民の学びを促進する意識づくりと環境づくり
- ・市民の方々のしたいこと、学びたいことを支援、振興する
- ・市民の心豊かな生活の実現
- ・自分で情報を精査できる力を身につけて、安全に暮らしてもらいたい
- ・青少年及びその家族への支援、サポートを行う
- ・図書館・室 安心して過ごせる知、仲間づくり、気づきの場、自己実現の場
- ・人と本、人と人との出会いの場をつくる
- ・図書館を人と本、人と人をつなぐコミュニケーションややすらげる場所になるようにする
- ・図書室が人の知、気づき、いこいの場
- ・図書室が居場所、自己実現、人との出会い、生きがいの場に
- ・本を通じた生涯学習の推進と絆づくり
- ・市を超えた図書館ネットワークを機能させる
- ・本を読み、豊かに生きることを推奨する
- ・1人でも多くの人に本と出会ってもらおう
- ・市民の方に本を届ける
- ・他課の職員、議員にも図書館を利用してもらおう
- ・民主主義社会を構築するため、知のアーカイブで支える(図書館から発信したい)
- ・文化芸術や歴史を通じた市の魅力向上
- ・市内に素晴らしい“文化”が“在る”ことを知ってもらう
- ・地域固有の文化の継承

基本方針3 「環境」

- ・ボランティアの方の力を借りながら、無理ない業務配分を実現する
- ・職員が元気にやりがいをもって働き続けられる環境づくり
- ・配置される職員が楽しく充実して働けるような職場をつくる
- ・市民の学びを促進する意識づくりと環境づくり
- ・だれでも、何歳でも、いつでも学べる環境を整える

考える 世代 本 支える 暮らし
コミュニケーション 社会 文化 豊か 在る 賢い 出会う
素晴らしい つなげる 提供 まちづくり 幅広い 生きる
つなぐ 向上 図書 子どもたち 学び やすらぐ もらう
機会 うみだす 学べる づくり 図書館 できる
地域 高める いく 同士 通す 自己実現 支援 気づく
様々 社会教育 推進 生涯学習 知 進める 人生
つくる 年代 増やす 実現 環境
新しい 住む 配置 実現 過ごしやすい 持つ 楽しい